

# ルボ・京アニを燃やした男

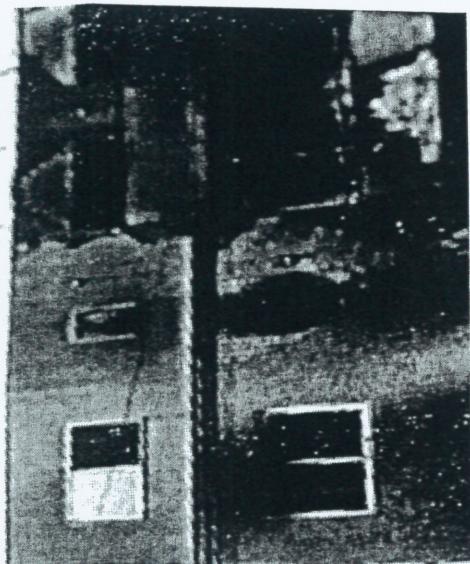
京都アニメーション放火殺人事件

十一月三十日発行 日野百草著 第二書館刊

46判 160ページ 定価900円+税

この国は、アニメ・マンガで、大量殺人が、  
易々（やすやす）と起こされる国になつた！  
犯人と同郷・同世代のコニツクライターが、  
この事件の闇の奥にあるものを、探る。

写真・wikipedia



- 彼は京アニメになりたかったのか？
- 京アニに盗まれた「小説」は存在した？
- 大事件でも使い切れぬ大量油はなぜ？
- 誰かに見咎められるために路上運搬？
- 公園でベンチ泊して「声かけ」を期待？
- 「死刑覚悟」は事件後思いついた発言？
- 京アニ社内情報に予想以上に精通？
- 何が彼を「決行」に向かわせたのか？
- 「精神鑑定」「無罪」はありうるか？

著者は、「事件」を「常総」—「毒親」—「浦高」—「自殺」—  
「転落」—「執筆」—「宇治」—「決行」とキーワードを辿つて  
追いかけ、「マスコミ報道」—「青葉はオタクだったか」—の考察  
を経て彼の「しくじり」を検証し、「文化に対する冒流」と「リス  
ペクト無き反知性」を指摘しつつ、彼我の距離を過大視しない。

帖合	第二書館	FAX 03-3208-6623
冊		<b>ルボ・京アニを燃やした男</b> 定価900円+税 ISBN978-4-8074-1998-2